

第2号発刊に寄せて

教務部長・教職課程センター長
鈴木健司

教職課程を設置するすべての大学等と同様、同志社女子大学の教職課程も、法改正に伴う再課程認定を経て、順調に2019年度から新課程へと移行することになりました。制度をめぐる大きな動きの中でも「キリスト教主義」「国際主義」「リベラル・アーツ」という建学の精神に基づく教育は不変であり、その下で、ますます優れた教員の育成に努めていくこととなります。

本学は今年度も多数の若い教員を社会に送り出すことができました。2018年3月には全学で延べ513名の学生が各種の教育職員免許状を取得して卒業し、2018年度の教員採用試験合格者数は59名（常勤講師、非常勤講師は含まない、私立学校採用試験合格者数を含む）という結果です。

教職課程に関わる成果報告の場として昨年創刊された『教職課程年報』が、多様な分野から4本の論文と報告を得て、今年も無事に発刊できることとなりました。本年報が同志社女子大学の教職課程をさらに発展させる一助として、今後も巻を重ねていくことを祈念いたします。

2019年2月